
令和7年3月定例会

令和7年度当初予算（案）総括



奈良市
Old History,
New Discovery.

未来を創る **安心** と **成長** の予算

令和7年度は、いつ発生してもおかしくない大災害への備えや
世界の不安定さ・日本の物価高騰が続く中で、
市民生活を守り、暮らしの質の向上を実感できる予算を編成しました。

一般会計：1,680 億円（対前年度比 + 3.2%）

全会計：2,798億 1,608万円（対前年度比 + 2.6%）

（単位：千円）

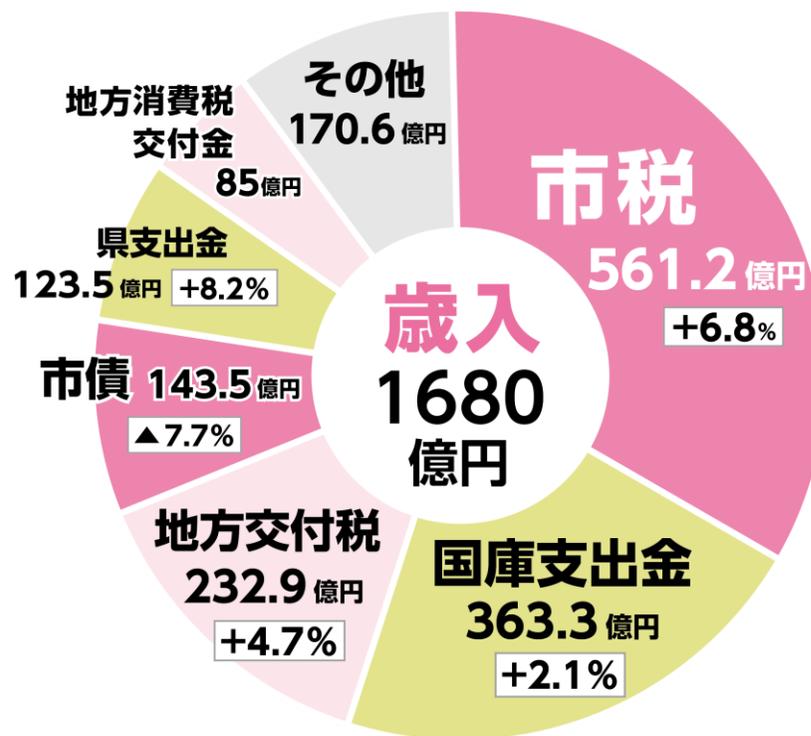
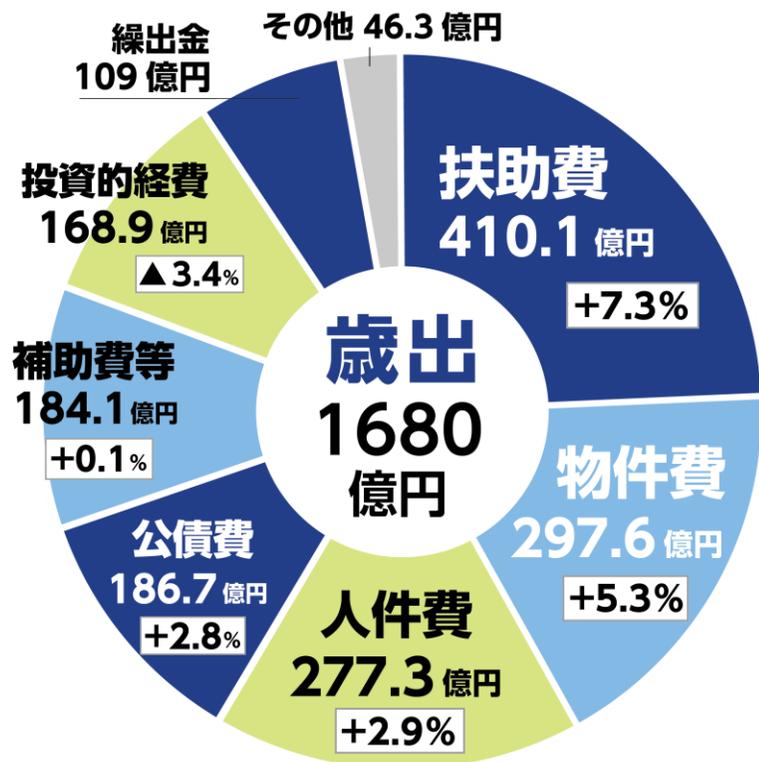
会計名	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
一般会計	168,000,000	162,722,110	+ 5,277,890	+ 3.2%
特別会計	84,610,000	82,868,500	+ 1,741,500	+ 2.1%
公営企業会計	27,206,079	27,104,315	+ 101,764	+ 0.4%
合計	279,816,079	272,694,925	+ 7,121,154	+ 2.6%

社会保障関係費の増加により一般会計の予算規模は増加

一般会計総額は、前年度比3.2%増の1,680億円となり予算規模は過去最大。

歳出において、扶助費が7.3%(28億円)増。児童手当の制度拡充(R6.10月～)や障害福祉サービスに係る給付など、社会保障関係費が増加。

歳入において、市税が6.8%(36億円)増の561億円となり、平成17年度の合併以降最大。定額減税の終了や給与所得の増加により個人市民税が増加。市債では、臨時財政対策債の皆減により市債残高の減少にも寄与。



市債残高の推移

令和7年度は、JR新駅周辺の道路整備や環境清美工場の改修、小中学校へのエレベーター設置など、市債残高とのバランスに注意しながら、奈良市の未来のための投資を実施します。

ピーク時（平成24年度末）からは718億円（市の責任分は791億円）減少しています。

